

第16回グリーグ国際ピアノコンクール

優勝並びに聴衆賞受賞 記念

高木 竜馬

ピアノリサイタル

“国際コンクールの軌跡”

2台ピアノ グリーグ協奏曲付き

晩期ショパンの聖なる諦め。驚愕のテクニックが生む、協奏曲の壮大なドラマ。

2019. **2.2** (土) 開演 14:00 開場 13:30

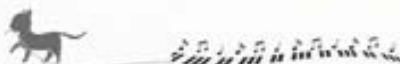
まちづくりスポット稲毛 (フレスポ稲毛内)
全席自由 一般 3,500円 学生 1,800円

- F.F. ショパン / 2つのノクターン 作品 62 より
第1番 口長調
- E.H. グリーグ / 抒情小品集 第8集 作品 65 より
第6曲 二長調《トルハウゲンの婚礼の日》
/ 抒情小品集 第5集 作品 54 より
第4曲 八長調《ノクターン》
- F.F. ショパン / 舟歌 嬰へ長調 作品 60
/ ポロネーズ《幻想》変イ長調 作品 61
- P.I. チャイコフスキー / 主題と変奏 作品 19-6
- E.H. グリーグ / ピアノ協奏曲 イ短調 作品 16
(オーケストラパートピアノ: 高木 薫子)

アンコール / 英雄ポロネーズなど 名曲プログラム
2台ピアノ チャイコフスキー《くるみ割り人形》より

演奏者紹介

高木 竜馬 RYOMA TAKAGI



撮影 / 三好 英輔

1992年千葉県生まれ、26歳。2歳よりピアノを始め、7歳より故エレナ・アッシュケナージ女史に師事。16歳より故中村純子、ミハエル・クリスト各氏に、22歳よりボリス・ベトルシヤンスキー氏に師事する。渋谷幕張高校在学中に、ウィーン国立音楽大学コンサートピアノ科に合格。現在、同大学院課程に在籍し、ミハエル・クリスト氏よりドイツ奏法を学ぶ。室内楽をマインハルト・プリンツ氏に師事。高名なピアニストであるパウル・バドゥラ＝スコダ氏の自宅レッスンにも通い、ウィーン奏法の神髄に触れる。現在、かのゲインリッヒ・ネイガウス最後の高弟として、世界的に著名な名師ボリス・ベトルシヤンスキー氏の招聘を受け、イタリアの名門、イモラ国際ピアノアカデミー・ポストグラディエイト課程に併修。ロシア奏法の本流ネイガウス楽派の研鑽に励む。

これまでに、奥田操、M.アルグリッチ、A.ヴァルディ、A.セメツキー、S.エーデルマン、T.ゼリクマン、D.タイ・ゾン、A.ナセドキン、D.ヨッフエ、A.ヒューイット、A.ヤシンスキー、N.フィッシャー、V.トロップ、S.ハフ、S.ドレンスキー、A.ピサレフ、P.ネルセシアン、O.ヤブロンスカヤ、G.ツィッターバルト(古楽器)、R.ブラウティハム(古楽器)各氏等から薫陶を受ける。音楽学を三ツ石潤司氏に師事。指揮法は、小澤征爾氏からレッスンを受け、現在、ウィーン国立音楽大学で指揮伴奏助手を務め、湯浅勇治氏に師事する。

第1回日本チャイコフスキーコンクール、モスクワ第2回ネイガウスフェスティバル、第15回国際ピアノコンペティション「ローマ2004」、キエフ第6回ホロヴィッツ国際ピアノコンクール、第19回浜松国際ピアノアカデミーコンクール、第38回エレナ・ロンプロ・シュテパノウコンクール、第26回ローマ国際ピアノコンクール、Dr.ヨーゼフ・ディヒラーコンクールで各々優勝。本年9月には、第16回エドヴァルト・グリーグ国際ピアノコンクールにて、優勝及び聴衆賞を受賞する。今後は、日本及びノルウェーを始め、ヨーロッパ各地で、50回に及ぶリサイタルと主要オーケストラとの共演が予定されている。

日本、ロシア、ウクライナ、アメリカ、イングランド、ドイツ、オーストリア、ハンガリー、チェコ、サンマリノ、イタリア、フランス、ノルウェーなど世界各地で演奏。ウィーンフィルのニューイヤーコンサートでつとに有名なウィーン楽友協会大ホール(黄金のホール)を初め、モスクワ音楽院大ホール、ローマヴァッレ劇場、ヤロスラブリハーモニアホール、ウクライナ国立フィルハーモニアホール、キエフ国立オペラ座、モスクワクレムリン宮殿、ミュンヘンガスタイクホール、ウィーン楽友協会、ウィーンコンツェルトハウス、シェーンブルン宮殿、ローマキリノ劇場、グリーグ博物館ホール、グリーグホール等々、著名なホールで演奏する。日本では、みなとみらい大ホール、新国立劇場、紀尾井ホール、千葉京葉銀行文化プラザ、千葉県文化会館大ホール、水戸佐川文庫、ミュージアムシンフォニーホール、大阪フェニックスホール、カワイ表参道パヴェ、東京文化会館、サントリーホール大ホール、軽井沢大賀ホール、前橋市民会館、草津音楽の森国際コンサートホール等で演奏。現在は、日本とウィーンを拠点に広範な演奏活動を続ける。

ロシアヤロスラブリ交響楽団、ウクライナ国立フィル、ウィーン室内管弦楽団、ノヴァ・アマデウス室内交響楽団、ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、東京交響楽団、群馬交響楽団、東京フィル等のオーケストラと、アンドレア・パッティストニを初め、ムラド・アナマメドフ、シュテファン・ヴラダー、ニコラ・サマレ、エドワード・ガードナー、飯森宜親、現田茂夫、伊藤翔、中田延亮、柴田真都各氏等の指揮で共演。

TV『題名のない音楽会21』『(東京の夏)音楽祭』『スタンドアップ!クラシックフェスティバル2018』『春日大社御創建1250年奉祝 TVアニメ『ピアノの森』ピアノコンサート』等々に出演。演奏の様子は『オーストリア国営ラジオ』『BSジャパン』『NHK-FM リサイタル・ノヴァ』『NHK-FM ベストオブクラシック』等にて放送される。現在、NHK総合テレビ『ピアノの森』に高宮修平メインピアニスト役で出演中。江副記念財団 第35回奨学生。

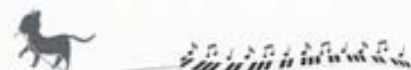
高木 薫子 KAORUKO TAKAGI



千葉県生まれ、22歳。2歳よりピアノを始め、5歳より故エレナ・アッシュケナージ女史に師事。13歳より故中村純子、ミハエル・クリスト各氏に、18歳より世界的に著名な女流ピアニストのリーリャ・ジゼルシュテイン氏に師事する。東京音大付属高専ピアノ演奏家コース卒業後、ウィーン国立音楽大学コンサートピアノ科に優秀な成績で合格。その才能に驚いたリーリャ・ジゼルシュテイン教授より特別に申し出を受け、難関の同女史門下に入る。現在、特別奨学生として在学し、ロシア奏法の本流ネイガウス楽派の研鑽に励む。これまでに、タチアナ・ゼリクマン、アリエ・ヴァルディ、ウラディーミール・トロップ、バグヴェル・ギリロフ各氏等のレッスンを受ける。

第15・16・17回浜松国際ピアノアカデミーに、3年連続で選抜され参加。本年は、伝統あるウィーン国立音楽大内のヨセフ・ディヒラー教授ピアノコンクールで第2位(第1位は高木竜馬)、ウィーン第10回ロザリオ・マルチアーノ国際ピアノコンクールにて第1位及び大賞を受賞。

これまで、京葉銀行文化プラザホール、津田ホール、みなとみらい小ホール、サントリー小ホール、千葉県文化会館大ホール、多古町コミュニティプラザ文化ホール、ロンドンヤマハホール、ウィーン楽友協会内ペーゼンドルファーホール等々にて演奏。



会場ご案内



JR「稲毛駅」東口 2番 京成バス山王町行き

「ヴィルフォーレ稲毛」下車 徒歩3分 無料大駐車場あり

まちづくりスポット稲毛(フレスポ稲毛内)

〒263-001 稲毛区長沼原町731-17 043-310-6984

<http://machispoinage.org/#access>

※千葉モノレールをご利用の際は、「スポーツセンター駅」より、国道16号線を渡り、向い側バス停「スポーツセンター駅」より京成バス山王町行き「ヴィルフォーレ稲毛」下車。

チケットのご購入・お問合せ

【デミカ ☆らくらく☆ チケットサービス】

(手数料・送料 無料)

お電話、メール一本で、らくらくご購入

チケットを、ご自宅まで郵送

コンセルヴァトワール デミカ:

090-4430-0826

demika-piano@docomo.ne.jp

主催: コンセルヴァトワール デミカ 後援: ノルウェー大使館、日本グリーグ協会